

令和5年度 学校関係者評価実施報告書（自己評価）

|      |    |     |                 |     |      |
|------|----|-----|-----------------|-----|------|
| 学校番号 | 27 | 学校名 | 静岡県立富士宮東高等学校（全） | 校長名 | 鈴木 香 |
|------|----|-----|-----------------|-----|------|

| 評価 | 基準                | 評価 | 基準                   |
|----|-------------------|----|----------------------|
| A  | 十分目標を達成することができた   | C  | あまり目標を達成することができなかった  |
| B  | おおむね目標を達成することができた | D  | ほとんど目標を達成することができなかった |

本年度の取組（重点目標はゴシック体で表示）

|   | 取組目標                                 | 成果目標   | 達成状況  | 自己評価 | 成果と課題   |
|---|--------------------------------------|--|-------|------|---|
| ア | 自己管理能力育成のため、心身の健康の増進と基本的な生活習慣の確立を図る。 | 高校生としての生活・学習の習慣が身に付いたと答える生徒 90%以上            | 92.7% | A    | 日頃の指導により、基本的な生活習慣、学習習慣、交通ルールは身に付いていると思われる。しかし、約60%にのぼる自転車通学者が、接触事故等を起こすことが複数回あったことから、事故の予防はもちろん、事故の当事者になったときの対応の指導が課題である。<br>教育相談チームがうまく機能した。支援が必要な生徒に、スクールカウンセラーや特別支援学校のセンター的機能を利用して、チームで対応にあたった。今後はよりきめ細かな対応を目指す。 |
|   |                                      | 学習時間の記録率 70%以上                               | 78.7% |      |   |
|   |                                      | 基本的な生活習慣を身に付けるための適切な指導がされていると答える生徒・保護者 95%以上 | 99.0% |      |   |
|   |                                      | 交通安全に関する講座等 年2回以上                            | 2回    |      |   |
|   |                                      | 交通ルールが守れていると答える生徒 100%以上                     | 99.0% |      |   |
|   |                                      | 1年生全員の一分間カウンセリングの実施                          | ○     |      |   |
|   |                                      | 教育相談チームの情報共有 月1回以上                           | ○     |      |   |

|   | 取組目標                                 | 成果目標                               | 達成状況  | 自己評価 | 成果と課題  |
|---|--------------------------------------|------------------------------------|-------|------|--|
| イ | 基礎学力の定着に加え、主体的・探究的に学ぶ姿勢を培う。          | 授業が分かると答える生徒 95%以上                 | 90.4% | B    | <p>授業改善研修等に積極的に取り組んでいるが、成果が生徒の学力に反映するまでにやや時間がかかっている。今後も研修を続け、生徒が授業がわかり、自主的な学習習慣が身に付くことで、基礎学力が向上するというサイクルになるようにしたい。</p> <p>探究については、生徒は課題発見から調査、探究して報告するという知識と技術を身に付けてきている。今後も適切な課題設定を行い、探究力の向上につなげたい。</p> |
|   |                                      | 生徒の宮東力自己評価向上<br>意識して取り組んでいる生徒      | 84.6% |      |  |
|   |                                      | 授業改善のための授業参観・校内研修等、年間3回以上          | 4回    |      |  |
|   |                                      | スタディーサポートにおける国数英総合判定でC1以上の生徒 50%以上 | 34.0% |      |  |
|   |                                      | 探究力が向上したと自己評価する生徒 60%以上            | 87.3% |      |  |
|   |                                      | 探究チームの企画会議<br>月1回以上                | ○     |      |  |
|   |                                      | 自主的な学習の習慣が身に付いたと答える生徒 85%以上        | 83.3% |      |  |
|   |                                      | 生徒年間読書平均5冊以上                       | 61.4% |      |  |
| ウ | 主体的な活動を促し、他者との関わりの中で成長を実感できる機会を創出する。 | 生徒会や委員会活動を活発に行ったと答える生徒 90%以上       | 76.6% | B    | <p>生徒会、委員会活動は比較的盛んではあるが、コロナ禍で中断していた活動の継承や校舎建設に伴う活動の変更等が、生徒の主体的活動に影響を与えている。学校行事や部活動には主体的に参加しており、今後は個人での地域活動参加への動機づけが課題となる。グローバルハイスクールに指定され、地域に住む海外ルーツの方々との交流も進展してきたため、継続していく。</p>                         |
|   |                                      | 学校行事に積極的に参加したと答える生徒 95%以上          | 95.2% |      |  |
|   |                                      | 部活動に積極的に参加したと答える生徒 95%以上           | 95.0% |      |  |
|   |                                      | 地域との連携やボランティア活動へ参加する生徒 70%以上       | 71.4% |      |  |
|   |                                      | ボランティア実施部活動率 70%                   | 100%  |      |  |

|   | 取組目標                                 | 成果目標  | 達成状況               | 自己評価 | 成果と課題  |
|---|--------------------------------------|---|--------------------|------|--|
| エ | 進路選択に関する指導の充実を図る。                    | 進路目標達成のために努力していると答える生徒 95%以上                | 88.7%              | C    | <p>全教員が、生徒一人一人の進路実現を支援する、「進路サポーター制度」は、生徒に好評のため継続する。今後は、生徒に1年次から進路目標を意識させ、保護者に情報提供を行っていく必要がある。「進路の手引き」を電子化するので、保護者がアクセスしやすく、進路について担任等に相談しやすい環境整備が課題である。</p> <p>「教育支援ツール」を教員が進路指導に活用するよう、進路課中心にサポートチームで検討を重ね、教員支援を行う。</p>                                    |
|   |                                      | 進路指導に満足していると答える生徒・保護者 90%以上                 | 生 94.4%<br>保 80.8% |      |  |
|   |                                      | 特進サポートチームの情報共有・企画会議 月1回以上                   | ○                  |      |  |
|   |                                      | キャリアサポートチームの情報共有・企画会議 月1回以上                 | ○                  |      |  |
|   |                                      | 教育支援ツールを進路指導に活用した教員 80%以上、進路実現に活用した生徒 50%以上 | 教 72.1%<br>生 79.7% |      |  |
| オ | 学科やコースの特色を生かし、福祉の心や芸術に親しむ豊かな感性を醸成する。 | 福祉フェアの参加人数 200人以上                           | 289人               | A    | <p>芸術コースの作品展等に加え、昨年度から実施している「福祉フェア」等、福祉科の活動を地域に伝える機会が増えた。介護福祉士の合格率は5年連続100%と、教育の質を維持しながら、オープンスクールでのハンドケア実施など、地域貢献活動は継続していく。</p> <p>芸術コースも福祉科同様、地域貢献活動がより活発になっている。子どもたちとの黒板アート共作や、祭りでのライブペインティング実施など、いずれも好評であった。今後も生徒は自身の学びの成果の発露である創作活動と地域貢献活動を継続していく。</p> |
|   |                                      | 地域・施設・他校との連携年5回以上                           | 6回                 |      |  |
|   |                                      | 介護実習が充実していたと答える生徒 100%                      | 100%               |      |  |
|   |                                      | 介護福祉士国家試験の合格率 100%                          | 100%               |      |  |
|   |                                      | 芸術コース進路実現目標達成率 80%以上                        | 100%               |      |  |
|   |                                      | 校外作品展・コンテスト等への出品率 100% 及び受賞 20件以上           | 100%<br>23件        |      |  |
|   |                                      | 芸術コース作品展への来場者 700名以上                        | 749名               |      |  |
|   |                                      | 地域機関からの依頼作品作成及び地域との連携 5件以上                  | 8件                 |      |  |

|   | 取組目標                                     | 成果目標                                    | 達成状況             | 自己評価 | 成果と課題  |
|---|--|---|------------------|------|--|
| カ | 地域を愛する心を育てるとともに、地域や保護者から信頼される魅力ある学校を目指す。 | 家庭への連絡や情報提供が適切に行われていると答える保護者 95%以上      | 95.0%            | A    | 生徒について、担任が家庭と丁寧な情報共有を行った成果が、保護者の満足度に表れている。今後も、保護者の不安や疑問に丁寧に対応していく。<br>また、情報発信を頻回に行った結果が、保護者の満足度向上に寄与している。一日体験入学参加者の満足度は高いが、これも生徒の参加者への丁寧な対応によるところが大きい。 |
|   |  | 学校HPやSNSによる情報発信 年 500 回以上               | 1,084 回          |      |  |
|   |  | 中学生一日体験入学に参加してよかったと答える参加者 80%以上         | 91.3%            |      |  |
| キ | 安全教育を推進し、安心安全な教育環境の整備・美化に努める。            | 災害時の学校の対応を理解し、自分にできる準備をしていると答える生徒 95%以上 | 91.4%            | B    | 防災訓練をより実行性の高い方法に変更し、災害時に主体的に判断して行動できる生徒を増やすことが課題である。<br>校内美化については、清掃等に積極的に参加している生徒が多いため、指導を継続していく。   |
|   |  | 校内美化が保たれていると答える生徒 95%以上                 | 93.9%            |      |  |
|   |  | 学校の施設設備は安全に配慮されていると答える生徒 95%以上          | 95.0%            |      |  |
|   |  | 施設設備に係る生徒事故 0 件                         | 0 件              |      |  |
| ク | 常に進化し続ける学校であるために、教職員の資質向上と働き方の改善を図る。     | 信頼できる先生がいると答える生徒 90%以上                  | 92.1%            | A    | 教員が生徒・保護者に丁寧に対応する場面がより増えてきたため、生徒との関係は良好である。丁寧な対応は迅速な情報共有につながり、同僚性が改善してストレスチェックの結果が向上したと思われる。<br>今後は、生徒完全下校時間の設定など、教職員の労働時間が適切に配分される取組を行う必要がある。         |
|   |  | 教職員不祥事 0 件                              | 0 件              |      |  |
|   |  | 教職員ストレスチェック結果の向上                        | 向上<br>R5<br>やや良好 |      |  |
|   |  | 定時退勤日の設定                                | ○                |      |  |
|   |  | 夏季休暇取得率 100%                            | 100%             |      |  |